

刊夕 日六月二



定額一圓五角... 發行所 常磐毎日新聞社... 印刷所 常磐毎日印刷株式会社



作創 (6)

或る女

村瀬 忠夫

『みどり組の小夜子さん』 『お客さん』二階でお化粧して居る處へ、ドタバタ上つて来たのは明美だつた...

話したい事澤山あるけれど一層の事御手紙出さうかしら、だが今此處でカフエーの一女給として働いて居る事に就て... 『何んとか言へよ、小夜子』...

其の日、三枝子は光一と道子と三人で日本劇場へ行へ約束して居た。光一の家へ来て見たが二人とも留守である、もつとも道子は松坂屋へよると言つて途中で別れたが、夫れにしても歸りが遅すぎる、問題は光一である、あれほど強制的に約束させたのにどうして居るんだらう。いつか歸つて来て居る時間なんだが、三枝子はひとりで氣をもんで居た。

武之儀病氣の爲め東... 河台病院に於て療養不叶相一月廿七日午後八時逝去... 追而告別式は二月八日(舊正月十六日)午後二時自宅出棺古銀治町良善寺に於て佛式に依り執行可仕候 昭和十一年二月六日 嗣 子 佐藤 至孝 佐藤 武一 親戚總代 若松 武一郎

有給社員募集 一、地方擴張ノ爲男女十數名募集ス 固定給ノ外歩合アリ 資格者 經驗ノ有無ニ不拘指導ス 但シ誠義奮闘家ヲ望ム 希望者ハ午前中當出張所へ面談アララシ 野村生命保險株式會社 磐城出張所 平町長橋町四七 主任 福島 健之

お年始のお客様に 魚清のサービス さしみと御飯 吸物おしんこ付 二十五錢 三品 五十せん 五品 八十せん 角力場の御食事に すし折詰 魚折詰御飯付 二拾 拾 三 十 三 拾 五 錢 三 拾 五 錢 四 拾 錢 五 拾 錢 五 拾 錢 込合ますから何卒來る 九日まで御注文下さる様 御願致します 平二警察署裏通り 魚清食堂 電話六三三

ほねざき 桑原柔道整骨院 平泉園下電話六四

新劇團大歌舞伎座 空前特別大興業 帝都壽座開演の市川桃藏 大一座を此度當地にて招聘致し華々しく開演致す 事に相成りました從來のお芝居とのみ御思ひ遊ばします演法法の替るこの新劇團です何卒一夜の御劇評を御願申上げます 前會券御利用願います 館主 飯田 近治 責任

和漆器家具は 和久産 平野町目 電話五〇五

母ミチ子病氣の處療養不相叶八拾七歳の高齡を以て一月二十四日午前三時四分永眠致候御通知に代へ此段謹告仕候也 追て葬儀は舊正月を遠慮し來る二月八日(舊正月十六日)午後一時三十分自宅出棺常町長橋町性源寺に於て佛式により執行可致候 昭和十一年一月二十四日 福島縣平町舊城跡十二 親戚總代 孫 青沼 鋒太郎 青沼 淡太郎 市原 卯太郎 神谷 辰五郎

二百餘名の救援隊 復舊に大奮

平局市外電話被害底知れず

市外電話三十四回線全部を滅茶々にされた平局郵便局では既記の如く仙臺逓信局に救援方を急報したが被害調査を行った處電柱の倒壊数は平、四倉、小名濱附近で各四十本植田町附近は八十本合計二百餘本に達し一報毎に被害が擴大するので仙臺逓信局では五日夜迄に技手技員等十九名と仙臺盛岡 福島 若松等の工夫

大鐘紡の資本 石双二郡に進む

平町に出張所新設 製糸工場設立の前提が 特約組合の契約を開始

延びる財閥の觸手

鐘紡會社の石城地方進出はかねて噂されてゐたところであるが今回同社福島工場製糸では石城、双葉郡下から約二萬貫の春秋繭を同工場の手に納めることとなり五日から平町大町に出張所を開設出張員が乗込んで石双二郡下の特約組合設立に着手した同社の石城地方進出は將來平町に製糸工場設立の前提だと噂されてゐるが果してこれが實

- 遠野(二五八圓) 入遠野(二八九圓)川部(一九三圓) 田人組合(一四八圓) 平(一三七圓) 飯野(三〇九圓) 夏事(二四八圓) 高久(二二五圓) 豊間(一一一圓) 江名(一三五圓) 鹿島(二三〇圓) 小名(一一三圓) 玉川(三二三圓) 磐崎(三一三圓) 湯本(一一七圓) 内郷(一九八圓) 好間(三四二圓) 赤井(二四一圓) 永戸組合(二〇五圓) 三坂組合(二三一圓) 神谷(二五五圓) 草野(三七〇圓) 大浦(二七〇圓) 四倉(一〇六圓) 大野(二九〇圓) 平窪(二六三圓) 下小川組合(二一八圓) 川前(一一九圓)

郡内各町村の 肅選婦人強調デー

實施事項決定

- 一、祈願祭の執行市町村全體又は部落毎に神社に於て施行するべき總選舉に棄權せず立派に投票せんことを祈願する
- 二、講演會映畫會の開催選舉肅正映畫は縣下なるべく提供し又講演會講師は縣下極要の地數ヶ所に派遣する
- 三、座談會懇談會開催各部落毎に開催し小學校職員、市町村吏員警察官吏等の臨席を得る
- 四、講演會 映畫會懇談會ではあくまで内助の力により違反行為を排撃し棄權せず、自覚の明なる選舉の實現を念願する宣言
- 一、調強日當日の實行事項宣言申合は市町村参加婦人團體名で各家庭に配布する
- 二、國旗章の佩用獎勵愛國婦人會で國旗章を頒布し一般有権者に投票當日佩用させる發賣は街頭に於てする
- 三、投票當日の必行事項を印刷したビラを配布する
- 四、肅正門標の貼付
- 五、婦人團體の名をもつてポスター立看板掲示なほ投票當日には各戸に國旗を掲揚して赤飯を炊くことを獎勵する

濱通郷軍分會 國防強化

平町分會會長會議在郷軍入縣支部では選舉肅正並に軍縮脱退後の國防化を圖るため来る十日平町に濱三郡各分會長を招集して

協進會を開くことになつた
違反防止 豊間村の座談會 選舉違反防止座談會は大雪の五日午後一時から同村小學校に開かれた
農事關係打合 石城郡町村産業技術員並に勸業主任協議會は廿八日平團體事務所に開き十一年度農事關係諸般の打合せをする

農村更生の指針 中堅農民講習會

石城郡農會主催で

石城郡農會主催の中堅農民講習會では滿一ヶ年の終了期に近づき講習生百十一名に對していよいよ最終の連續(三十日)間講習をなすべく三日午前十時郡農會長諸橋久太郎氏を初め役員生徒が集まり講習の日割科目を打合せたが科目及び講師の決定せる分は左記の如くである

- △長崎町五〇 當時東京市向島區吾妻町西六丁目四〇 佐々木恒久氏二女正子 さん
- △紺屋町一四 吉田潔氏二 男 俊一さん
- △仲間町五四當時東京市瀧野川區西ヶ原二二佐藤 二郎氏 長男孝宗さん

平町人事

- △結婚 回 出 生
△東京市向島區隅田町四丁目二五九 高島松三氏 (二八) 長橋町二五根本 キミさん(二七)
△回 死 亡
△白銀町一四 磯川義隆氏
- △新川町二三 當時札幌市南八幡西五丁目二二四 大和田サキさん(七一)
△二丁目一 當時東京市澁谷區下通三丁目三一 石川弘一氏(三〇)
- △平職業紹介所報告
△旅館女中 卅才迄給料五圓
△女中 四十才迄 月給五圓
△中契 四十才迄 給料
△トラック運轉手 三十才迄 月給四十圓 外住宅
△雜役 廿五才迄 月給五圓
△豆腐賣子 卅才迄給料七圓 合歩
△運配 十七才迄月給四圓
△飲食店雜役 廿才迄 月五圓
△粕入夫 卅才迄月給十圓
△小店員 廿才迄月給五圓
△漁業雜役 廿五才迄月給十圓
△精米店員 廿才迄月給五圓
△女工 廿才迄月給七圓通勤三十錢
△表具見習 廿才迄年給三十圓
△染洗見習 十八才給料小遣仕着
△職を求める方
△人絹職工 三十才高卒
△人絹女工廿五才產婆學卒
△紡績女工 十七才尋卒
△トラック助手廿四才尋卒
△女中 十九才高卒
△集金人 四十六才高卒

轟然貨物列車顛覆

悲慘なる現状

湯本寶海地内の椿事

八輛連結の儘民家に突入 哀れ老幼三名瀕死の重傷

六日午前七時十分頃湯本町字寶海地内小野田炭礦専用引込線の寶海踏切附近で湯本驛を發した半機關車の八七〇九号機關車を機關手大村七郎(五)が運轉し貨車二十五輛編成で進行中水結した線路の爲め脱線十八輛の貨車は轟然顛覆してうち八輛は大音響と共に附近の民家へ突入し同字居住梅原清光(三)同浅吉(六)同寅吉(二)女チイ子(三)に瀕死の重傷を負し更に岡部吉藏、梅原寅治、市川朔助、佐藤馬吉、草野茂、岡部吉藏、遠藤重春、吉田熊次郎の八戸を大破した、急報により水戸運輸事務所より大木運轉主任平保線區より工夫三十餘名急行したが同附近は前後左右に貨車が横倒となつて居り殊に岡部、梅原、市川の三家は室内深く貨車が飛込んで家財を滅茶(一)にされ慘狀を呈してゐる

國鐵ダイヤ

五日夜完全に回復

電話回復は今日

昨報白魔の亂舞に遭つて未曾有の混亂に陥つた平驛列車ダイヤは昨五日夜正午頃より各列車は十數時間遅延し乍も漸次運行して同夜より完全にダイヤを回復した一方不通となつた鐵道電話も今朝に至り磐越線及び常磐線水戸平間が復舊残る下り線は四倉仙臺間回復したが平、草野驛間夏井川鐵橋附近二百米の電柱は大平夏井

竹田玉齋の

公判延期

中島判事出福のため稀代の詐欺漢竹田玉齋に係る公判は明七日中島裁判長係り氏家檢事立會酒井辯護

士列席の下に開廷される筈であつたが中島裁判長が急用で出福の豫定となり延期

お座敷から消えた 百太郎の行方判る

大連水上署留置の 誘拐魔登場で曙光

小名濱町中坪三三藝妓屋若竹立花秀吉(四)方抱え藝者百太郎こと茨城縣多賀郡松原町大字高萩はつ長女堀部よみ子(三)は昨年十二月十八日玉川村大字大原小瀧鐵泉の御座敷に行つたまゝ行方を晦まし捜査中の處

右は昨年十月中小名濱港に寄港した山口縣下關日本漁網株式會社立海丸船員鹿兒島縣出水郡阿久根町生れ田島武二(三)が誘拐したものゝ如く田島は昨年十二月中同會社を誠首されて後下關市内の同僚渡邊某の紹介で市中の某船會社に勤務した事判明同著に照會した

親不幸な長男 安達

郡小濱町仁藏長男月井友義(三)は廿年前家出して平地方の炭礦に稼いでゐる旨十一年前音信あつたがその後何の便りもなく仁藏は中風症で臥してゐる處へ二男の俊吉(三)が昨年十二月病没したため生活に困りますと實母のラクさんから平署へ

減區許可

平町柳町渡邊甚内氏が出願し過般許可された双葉郡大

帆船名簿登録

町大久保卯之助所有の機關十付帆船平福丸總噸數二十九噸は此程船舶名簿に登録された

佐藤武之氏逝去

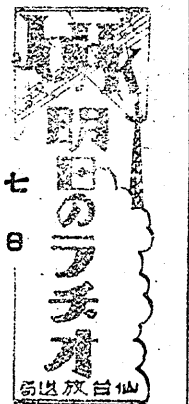
平町五丁目齒科醫師佐藤武之氏は過般胃腸病のため東京駿河臺病院へ入院中の處昨五日病革り逝去された享年四十九同氏は永年平第二小學校々醫鐵道省囑託醫福島縣齒醫師會副會長螢雪會々長を歴任し盡すところ多く今回の訃報は各方面から惜まれてゐる

郡内小學校 校長會議

九日平第三校で郡内小學校校長會議は九日平町第三小學校で開き左の事項を附議する

藤沼醫院

平町・紺屋町 電話五〇七番



明日の予報

今晚は晴明日も同様

今晚の部

- 後六、〇〇 子供の時間 合唱 JOAK 唱歌隊
- 日の丸管絃樂團
- 後六、二五 選舉講座(二) 一般有権者の心得内務省警保局防犯課長清水重夫
- 後七、三〇 講演「世界經濟から見た銀の問題」荒木光太郎
- 後八、〇〇 謡曲「海士」遠藤善作
- 後八、二五 清元「道行浮時鷗」淨瑠璃清元志壽太夫
- 後八、五五 浪花節連夜三題(第二夜)「梶川粗忽の大力」筑波雲
- 後九、三〇 時報ニュース 明日の歴史 番組豫告
- 明日の部
- 「新しい會話語と流し」と「動向」(一) 渡邊均
- 前七、三〇 朝の修養「阿彌陀經」(五) 稻垣真我
- 前九、〇〇 家庭メモ
- 前九、〇〇 料理献立「長崎料理」南蠻漬 小林忠雄
- 前二、〇〇 婦人講座「手紙の書き方」(第八講) 依頼文、督促文 木枝増一
- 後二、〇〇 五モダン小咄
- 後二、〇〇 家庭講座
- 後二、三〇 小學生の時間「尋六」理科エヂソンとマルコーニ 佐野昌一
- 久廣野雨村地下に埋藏されてる金 銀銅の百八十萬坪の廣大な試堀願中同氏よりの出願により六十四萬三坪の試堀減區願が今六日附許可された
- 後三、二〇 教師の時間「近世教育思潮講座」(四) ヘルバルト 文學博士 入澤宗壽
- 後五、三〇 爐邊物語「仙臺地方の狐」三原良吉
- 後六、〇〇 子供の時間「ラヂオ遊び」動物(二) 松本喜久代
- 後六、二五 基礎英語講座(九) 岡倉由三郎
- 後七、三〇 講演
- 後八、〇〇 管絃樂(通俗名曲第二回) 新交響樂團
- 後八、五五 浪花節連夜三題(第三夜)「赤尾林藏樂家遊

吉川あさの(三)は去る一月廿三日午前十一時頃無断家出家人が捜査中の處あさのは同市柳町二八渡邊高重方同居人姓不詳義秋(三)に誘拐されたことが判りその後渡邊一家が飯野村谷ヶ川瀨一六に移轉したのと一緒にあさのは同家に義秋と潜伏してゐるらしいからと實父から平署へ捜査方願ひ出た

平町五丁目齒科醫師佐藤武之氏は過般胃腸病のため東京駿河臺病院へ入院中の處昨五日病革り逝去された享年四十九同氏は永年平第二小學校々醫鐵道省囑託醫福島縣齒醫師會副會長螢雪會々長を歴任し盡すところ多く今回の訃報は各方面から惜まれてゐる

郡内小學校校長會議は九日平町第三小學校で開き左の事項を附議する

一、御眞影並に勅語謄本奉置に關する件

二、國體觀念明朝に關する件

三、選舉肅正に關する件

外九項

注意事項

一、教員の容儀 言動に關する件

二、中等學校入學準備教育に關する件

三、突發事件の處理に關する件

四、學校給食繼續實施に關する件

外十一項

希望事項

一、少年聲樂紹介に關する件

二、農繁期保育場開設に關する件

外七項

打合事項

一、教員の進退に關する件

外一項

二項

藤沼醫院

平町・紺屋町 電話五〇七番

繞る瓦解の設

(讀上級上)

悟道軒圓玉(作)
丸尾至陽(書)



四一 坂下門襲撃

閑老安藤對馬守を討取らむと浪士は坂下門に待受けた、かくとは知らぬ安藤侯新大橋のかたはら濱町の上屋敷を出で千代田城をさして進み行く、先供には狭箱

ない各々天下のためにこゝで死ぬと聲をかけた、おとこたへたこの人々は着て居る羽織をバツとぬぎ捨てたが下には白木綿の袴をかけて



忠「彼は我黨中にも最も熱血漢その内田が見えぬは不思議、この場にのぞんで黨中を脱する如き卑怯者でもあるまい、それにしても如何にしてかく遅刻したかしかし最早かれの来るを待ち受けて事をあげる猶豫

ある、これは同志目印のため第一番におどり出した三島三郎バツと先供へ跳り入り槍をさつとうばひ、それに居るものを七八人打ち仆した、續いて吉野政助、豊原邦之助、淺田儀助、高畑萬藏、相馬千之助、細谷

忠齋何れも抜きつれて斬つてかゝつた、かくと見て安藤侯の供方は駕より二間あまり進んで駕を後にしてぐりりとかためをつけた、これは櫻田に井伊大老が討たれた先供とあつた供が亂れたため、それに助勢をなさんと駕脚の者が散つたため浪士はその隙に乗じて井伊侯を討取つた、それ故かねしかういふことがあらば駕脚のものが散らぬやうにと、それでかご脇の者は空地をのこして固めをつけたこれ故三島三郎も吉野政助

助は群がりよる安藤の供方を突き伏せ斬り伏せ、無二無三にかご脇に迫る、折しも浪籍者そのくなくと聲をかけたが前後よりそれへかけ来たりしはおよそ三、四十人引き抜いてこの人々を中に取りとめ二つになれと襲ひかゝる、これは萬一を考慮して安藤侯はかご脇をこしらへて置いた、かご脇とは正式の供には加はらず通行人の様に見せてその實は警固のため、それですからこの大事を見るこのかご脇の人々がこゝへかけつ

逃げ居つたか、残念とハツタと覗んだが、門を乗り越す氣力もないところへ駆け来た服部彦八が後から斬り付けた、三郎は右の肩口を深く割り付けられてあつたといふとどうと仆れた、吉野政助に細谷忠齋も多勢のため重傷を負うてこれまた打仆れた、豊原邦之助に相馬千之助高畑萬藏は勇氣を鼓舞し、戦ひ居つたが同志の者がバツバツと打仆れるを見て、今はその氣力も失せ、これまた血にそまつてそれに打仆れた。

宗正らひた

美味！
芳醇！

山崎合名會社
電話一〇番

上田病院
電話二二九番

平町 南町
電話二二九番

いまかあ

胃と腸

胃腸病でお困りの人
中將湯本鎮洋村順天堂後、
信賴出来る胃腸薬わかま

こんな時こそ

わかま(若舞)を服用すれば驚く程よく効く食後や空腹の時痛む人食慾進まず胸やけする人食た物が再び口に出る人常習便秘で通じない人下痢軟便で固まらない人食ひ過ぎ飲み過ぎの人食慾増進薬となる責任と信賴ある若舞は副作用なし

市内主なる販賣店

- 東京 高島屋薬品部
- 東京 津村順天堂
- 東京 野澤屋薬品部
- 各地 有名薬店

若舞の効能・定價

- 胃痛、胃酸過多症 三拾錢
- 胃腸炎、急性慢性 五拾錢
- カタル、慢性胃腸 五拾錢
- カタル、食慾不振 一圓也
- 胃下垂、胃弱、消化不良、胃アトニ 三圓也
- 便秘、腸管弛緩、腸管痙攣、腸管下痢 五圓也
- 一圓也、二圓也

後援 津村順天堂
發賣元 鈴木誠心堂
東京市豊島区西目黒二丁目一
電話東京五八四六四
支店東京五八四六四

外科

門 専 X
科 線 光

上田外科病院

平町 南町
電話二二九番